

# 健康新聞

新しい健康法を伝える新聞です

新健康協会は「心身をいやし、新たな神智によって視野を広げ、心の  
拠りどころになる救いの場」をめざして活動しています。新しい健康法  
を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝  
えています。心と体をいやす「新しい健康法」を通して自然界の摂理  
を学ぶことで、人は生ある間に「どのように生き、何をすべきなのか、  
を知ることができます。

肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

## 浄霊体験記

### 坐骨神経痛 浄霊のおかげで楽になる

家族全員 浄霊のおかげで元気に過ごしております！

### 交通事故 脊髄炎… 命の継ぎ足しをいただく

神様への感謝が心の底から湧いてきます！

発行所 新健康協会 無 料

新健康協会総本部 福岡市東区唐原6丁目7番1号  
TEL:092-661-1531 (代) HP:https://shinkenko.jp

2021  
4月号

vol.773  
月刊  
毎月1日発行



左の御論文は、明主様（浄霊法の  
創始者）が昭和二十八年（一九五三）  
に発表されたものであります。  
御一読頂きまして、世界平和と心  
身に健全な人間作りを目指す私達  
の運動を、御理解頂ければ幸せに思  
います。

## 御神意を覚れ

これは以前も書いた事があるが、  
本来人間というものは、神様の御目  
的たる理想世界を造る役目で生まれ  
たものである以上、その御目的に叶  
うようにすれば、いつも無病息災愉  
快に働ける。これか不滅の真理であ  
る。ところが何しろ祖先以来の薬毒  
があり、また生まれてからも本当の  
事を知らないがため薬毒を入れるの  
で、それがため病気に罹る事もある  
が、これもやむを得ないのである。  
しかし神様は、お役に立つ人が病気  
のため働けないとすれば神様のほう  
では損になるから、速やかに治して  
下さるのは当然で、何ら心配はない  
のである。ところがそれを知らない  
人達は、薬と称する毒を用いて病気  
を抑えるのであるから、全く真理に  
はずれており、順調に治る訳はない  
のである。

この事はひとり病気がかりではな  
い。それ以外あらゆる災いも同様で  
あって、すべては浄化作用である。  
しかし同じ浄化作用でも、原因によ  
っては浄化の形もおのずから違うの  
は勿論である。例えば金銭や物質の  
罪である盗み、使い込み、人に損を  
かける、分不相応の贅沢をする等々  
の罪穢は、やはり金銭や物質で償わ  
れる。世間よく金持ちの息子などが  
道楽者で、親の遺した財産を湯水の  
ように使う事なども、親や祖先の罪  
障消滅をさせられるのである。それ  
というの、祖霊が自分の血統を絶  
やさぬよう、ますます一家繁栄を望  
むため、子孫の中の一人を選んで浄  
化にあたらせるのであるから、この  
場合何程意見しても糠に釘である。  
例えばここに二人の兄弟があり、  
兄はドラ息子で手がつけられないが、  
弟は律儀真道であるとする。ちよつ  
と考えると兄のほうが悪く、祖先の  
名を傷つけるように思えるが、大乘  
的にみるとその反対である。なぜな  
れば祖先の罪穢を消す点からいえば、  
兄のほうが上だからである。という  
ように、人間の考えで善悪は決めら  
れるものではない。  
また火事で焼け、泥棒に盗られ、  
詐欺にあい、相場や競馬、競輪等で  
儲けようとして損をしたり、商売の  
失敗、病気で金を使う等々、すべて  
物質の罪は物質で浄化されるのであ  
るから、たとえ人間の法律は免れ得  
ても、神の律法は絶対であるから、  
どうしようもない。  
従って人間の眼を誤魔化す罪は眼  
病、耳に痛いような言葉の罪は耳の  
痛みや舌の病、人の頭を痛めるよう  
な行為は頭痛、自己の利益のみに腕  
を奮う罪は腕の痛みというように、  
すべて相応の理によって浄化が行わ  
れるのである。  
またこういう事もある。それは信  
仰へ入ってからの苦しみである。し  
かも熱心になればなるほど一層苦し  
むものである。  
そこで信仰の浅い人はつい迷いが  
起こるが、この時が肝心である。こ  
の理は何かという、神様はその人  
の熱心に対して早く御利益を下され  
ようとすが、まだ汚れがあるから  
浄めねばならないので、入れ物の掃  
除としての浄化である。その場合少  
しも迷わず辛抱さえすれば、それが

### 新健康協会とは

病氣・貧困・争いのない  
世界、人類の幸福を最大の  
目標とし、心身の健康と靈  
性の向上を目指した「浄霊法」  
と「自然農法」を実施。また  
「美術・芸術」による魂の向  
上に努めています。  
本教の教祖「明主様」は  
昭和の初めより、幸福の原  
動力となる「浄霊」を確立さ  
れ、特に病氣や色々な悩み  
で苦しむ多くの人を癒し、  
幸福へと導かれました。

済むや思いもかけない程の結構なお  
かげを戴けるものである。  
これについて私の経験を書いてみ  
るが、私は二十年間借金に苦しめら  
れ、いくら返したいと焦っても駄目  
なので、とうとう諦めてしまった。  
それが昭和十六年になってようやく  
全部返す事が出来たので、ヤレヤレ  
と思った事である。すると翌十七年  
になるや思いもかけない程の金が入  
り始めたので、今更ながら御神意の  
深さに驚いたのである。  
また世間よく焼け太りなどという  
が、これも浄化が済んだから運がよ  
くなった訳である。かの熱海の火事  
にしてもそうで、焼ける前と今日と  
を比べたら雲泥の相違である。以上  
によってみても、善い事は無論結構  
だが悪い事も浄化のため、それが  
済めばよくなるに決まっているから、  
どっちへ転んでも結構な訳で、無病  
結構、病氣結構としたら、これこそ  
真の安心立命である。といつてもこ  
れは信仰者に限るので、無信仰者は  
むしろ反対であり、苦しみや苦しみ  
を生み、焦れば焦る程悪くなるばか  
りで、遂には奈落の底へ沈むように  
なる。この理によって人間幸福の秘  
訣は、この道理を弁える事である。

## 感謝の心

建設関係の仕事をしているＴさ  
ん（72歳男性）。  
ある日、仕事が一段落し休憩し  
ていると、ちよつとした不注意で  
左足小指にコンクリートブロック  
が落ちてきたそうです。それも安  
全靴から普段の靴に履き替えた  
きだったそうです。そう高くない  
所からだったので、酷い痛みもな  
く、あまり気にせず家に帰ったそ  
うですが、その後ヒリヒリとした  
ので、足を見ると真つ黒にうっ血  
しており、驚いたそうです。  
すぐに支部へ行かれ、浄霊を二  
回ただだかれました。すると、痛  
みも落ち着き、翌日も仕事へ行く  
ことができ、その日も仕事帰りに  
支部で浄霊をいただくことができました。  
すると、うっ血はとれ、三日目に  
は完全に痛みもとれ、靴を普通に  
履くこともできたそうです。  
「仕事上、以前はよくケガをして  
いましたが、浄霊をいただくよう  
になり、最近ケガの回数も少な  
くなりました。当たり方によって  
は小指ですので骨折していたかも  
しれませんが、軽く済ませていた  
だき短期間で良くなり、本当に感  
謝しがございません」とＴさんは  
話されていました。



浄霊は幸福を生む方法です。明主様は、幸福の根源は魂にあり、魂が浄まると運命が向上し、病気やあらゆる悩み苦しみが解消し幸せになることを、次に紹介していきます。数々の喜びと感謝の体験記も、それらを広く物語っています。

### 坐骨神経痛 浄霊のおかげで楽になる

香椎支部

斉藤初子 (80)

私が浄霊を知ったのは昭和四十一年の頃でした。家のポストに一枚の健康新聞が入っていたことがきっかけでした。当時の私は「慢性胃炎」で苦しんでおり、偶然手にした健康新聞のおかげ話を隅から隅までしっかりと読んで内容を憶えています。私は仕事から帰宅した夫に早速健康新聞を見せ、一度試してみたいと相談しました。すると夫は「ここが変なところだといけないので、まずは僕が様子を見て行ってくるから」と言って、仕事帰りに当時の新健康協会香椎支部を訪ねてくれました。家に戻った夫の話では、「多くの人たちから来ていてとても雰囲気の良いところだったから、今度行ってみたいよ」と気持ちよく勧めてくれました。

私は夫のその言葉を信じ、迷わず支部を訪ねました。そこでは支部の先生のお話を伺い、浄霊を初めていただきました。浄霊をいただいた正直な感想は、特に何も感じませんでした。しかし、家に戻って夕食を食べる時に一つの大きな変化を感じました。なんと、これまで胃炎の苦しみを、あまり食が進まなかった私が、美味しく食べることができたのです。とてもうれしかった気持ちと不思議な気持ちが入り混じって、感激した

ことを今でも忘れません。翌日も迷わず支部を訪ねました。そして「まずは一週間続けてみては」という言葉を素直に受け止め続けてみたら、これまでの胃の苦しみが日に日に楽になっていきました。それから私は入会して、その後は家族も全員入会しました。これまでも色々な浄化作用はありましたが、その度に家族全員浄霊のおかげで、今日まで元気に過ごさせていただいております。

今私は傘寿を迎え、ますます元気に過ごさせていただいております。この健康新聞を手に入れた方で、五十年前の私と同じ境遇の方がいれば、どうか新健康協会を迷わず訪ねられることを心より勧めたいと思います。(福岡県福岡市)

八月下旬のある日、突然右腰から坐骨、そして右脚にかけて、激しい痛みが起きました。私は前日まで家の掃除を少しはりきりすぎた疲れかと思っていました。その日から段々その痛みは強くなっていきました。それから私はタクシーに乗り毎日支部へ通うことにしました。歩くのがやつのような状態でしたが、おかげ様で食事の支度等はどうかこなすことができ、感謝いたしました。途中食欲が落ちる時期もありました。おかげ様で三週間経った頃には、激しい痛みもいぶん楽になり、夜もぐっすり眠ることができるようになってきました。

十月に入り、歩くことがとても楽になってきましたので、元気な時のようにバスを使ってみることにしました。往復の利用は少しだけ不安がありましたので、まずは支部の帰り道だけバスを利用してみました。するとおかげ様で何の問題もなく利用することができ、その後はさらに痛みがなくなってきましたので、ほとんど往復バス利用が可能になりました。明主様より、私たちは体に起こる全ての症状は、体の中の毒素を出すためのお掃除作用と教えていただいた

### 顔の腫れ 一週間で元通りに



高槻支部 川野規江 (47)

私は両親が浄霊をいただいておりますので、私も子どもの頃から浄霊をいただいております。おかげ様でたくさんのおかげをいただいております。

今回、私は顔が腫れるという状態が浄霊で良くなりましたので、お伝えさせていただきます。

私は昨年の三月下旬より、目の辺りに痒みが出始め、首にも痒みが出るようになり、首に腫れが起きました。すると四月に入ると顔が大きく腫れ上がり、誰だか分からない程になりました。ホンの少しの間ではありましたが、視界が完全に塞がってしまいましたが、視界が完全に塞がったことはありません。その時は手を引いてもありません。また、両耳ともに耳たぶが痒くなり、そこから膿も出始めました。体が疲れやすく、お掃除をする際に踏み台に乗ると頭がふらつく等、本調子ではありません。

せんでしたが、支部でよく浄霊をいただくと、顔の腫れが一週間ほどで引いていきました。五月に入ると少しずつ体力も回復して、色々なことが出来るようになりました。七月になると、今度は両足に痒みが出始め、次第に広がり、足全体が腫れて、正座が出来ないようにになりました。更に夜中にも痒みが出るようになり、一時間くらい掻き続けると治まらず、掻いた後の熱が落ちてくまで一〜二時間は眠れないという状態が暫く続きました。

おかげ様で、浄霊をいただくと、その状態も少しずつ良くなり、眠れるまじりになりました。ふらつくこともなくなり、皮膚も少しずつ綺麗になっていきました。本当に嬉しかったです。

この度の浄化で一番に思いましたのは、もしも頭の中で何かの病気になるっていたら、命に関わるようなことになっていたかも知れません。そんな中、顔の腫れや湿疹などで体の表面に毒素を出させていたいただき感謝しかありません。明主様に心より感謝申し上げます。

### 浄化作用ってどういうこと？

人間には体内の毒素を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えば、カゼの場合、蓄積してきた不純物や体外から入ってきた毒素を浄化するために熱や痛みが出ます。そしてその結果ハナやタンなどが出て体の中が掃除され、霊・体共に清浄化されます。その毒素排除の過程を浄化作用と言います。ですから浄化作用は、体の不調和を調和させる、大切な清掃作用でもあるのです。

慢性的な腰痛 痛まなくなる 佐世保支部 M・Y (74) 令和二年八月二日、買い物に連れて行ってもらい車から降りたとき、尾骶骨の上の方に違和感があり、立ち座りをすると、その部分が痛みました。自分で浄霊をすると、何とか炊事はできました。夜、寝返りするときにも痛みましたが眠ることはできました。

翌日も家でできる限り浄霊をいただきました。私は過去三回、つらい腰痛を体験しております。最初は四十代の頃で、その時は腰が、くの字に曲がったまま動くのが大変でした。当時は病院に行き注射をしましたが、一時的な緩和でしかなく、元々できるだけ薬に頼りたくないと考えていたもので、少し時間がかかったとしても、自然に治りたいと思い、支部に通い浄霊をいただきました。

おかげ様で、浄霊をいただくうちにすっかり良くなりました。本当に浄霊は素晴らしいと感じました。その後二回腰痛がありました。その時も浄霊をいただけて良くなり、回を重ねる度に痛みのある期間も短くなりました。そのため、今回の痛みになるまでの十年間は腰の痛さを忘れておりました。

八月四日、支部にお参りして浄霊をいただくと腰の痛みが軽くなりましたので、支部で畳拭きの御奉仕もさせていただきました。丁度お盆を控えておりましたが、四日以降は体調が良くなって、忙しく動くこともできました。明主様に心より感謝申し上げます。多くの御守護をいただき、誠に有難うございます。(長崎県佐世保市)

### 交通事故 脊髄炎：命の継ぎ足をいただく



周南支部 石田恵子 (78)

私は二〇一七年に大動脈乖離の手術を受けてから、その四カ月後に化膿性脊髄炎のために入院しました。翌年に大腸ガンの手術、さらにその一年後の五月には交通事故に遭いました。その度に明主様に御守護をお願いをさせていただき、入院中も長女より浄霊をいただきました。毎回予定よりもかなり早くに退院することができ、大変な御守護をいただきました。

交通事故では体が車体の下に入り込み、肋骨を左右合わせて十三本を骨折し、エンジンに触れた右足と左手は大ヤケドをしました。この事故で五日間程入院しました。足のヤケドは皮膚移植も検討されましたが、長女がすっかり浄霊をしてくれたので、皮膚移植はしなくて良くなりました。また後で気がついたことですが、私が事故に遭った場所にはくぼみがあり、車体が私の上を通った時、そのくぼみに体がすっぽり上向きに入り込みました。おかげ様で全身大ヤケドをせずに済んだわけです。大変な御守護をいただきました。心より感謝申し上げます。退院後も長女よりよく浄霊をいただき、骨折は順調に良くなりました。

の後、医学的な治療はせずに浄霊だけをいただき、激痛もだんだん和らぎました。おかげ様で二カ月ほど足からたくさんの膿が出て腫れもひき、良くならせていただきました。交通事故に遭う前も元気でしたが、ヤケドが回復するにつれ以前にも増して元気になりました。その当時、支部分体の中の毒素を出していただく時の苦痛が病気であり、外傷でも毒素を出していただいているという明主様の御教えをいただいておりますが、本当だと思えました。

#### 山登りもできるように

脊髄炎の時は一時車椅子にも乗っていましたが、現在は百歳体操にも行くようになり、みなさんの中で足も一番良く上がりとても楽しい日々を過ごしております。また、九年前より茶道のボランティア活動をしております。五年ほど前からは長女と二人で中学校で茶道を教えています。中学生の上達の速さに驚かされ、元気をもらい、楽しみの一つになっています。ここ数年色々あったにもかかわらず、振り返るとボランティアもそれほど休まずに済み、浄霊をいただくことで病気の苦痛を取ってもらっただけでなく、自分の人生が都合よく行かせていただいていることを実感しました。

四、五年前から痛んでいた左足が、昨年の八月頃から楽になっていくことに気がつきました。そして、十一月末、支部で浄霊をいただいた翌日に百歳体操主催の山登りがありまして、約三キロの道のりを歩きました。私は心臓を手術しているのので目的地に着くのは一番遅かったのですが、下りは誰よりも早く一番に帰り着きました。私は子供の頃からマラソンは完走したことがなく、疲れ

ると食欲がなくなり、夜も寝つきが悪くなっていたのですが、この度は途中でリタイヤすることもなく、山を下りてからもすぐにおにぎりを二個、おいしく食べることができ、夜はぐっすり眠れて、その翌日もとても元気に過ごせました。楽しい山登りができ、ここまで元気にしていただいたことへの感謝が、心の底から湧いて来ました。

#### ギックリ腰 顔面麻痺 よくなる

今後今まで以上に安心した幸福な気持ちで生きていけることがとてもうれしです。目に見えないお光がまるで見えるように、たくさんのおかげをいただき、感謝しております。明主様、命の継ぎ足を頂き、誠に有難うございます。(山口県山口市)



芦北支部 上松 茂 (60)

私は若い頃、何度もギックリ腰になっていました。その度に病院で痛み止めの注射をしていましたが、それを繰り返すうちに、心臓の動悸や息苦しさを感ずるようになりました。病院に行っても、たくさんの薬を出されるだけで、症状は改善せず、困っていた時に近所の方から浄霊の話を知りました。当時、芦北に支部はありませんでしたので、会員の平江さんのお宅へ

行き、浄霊をいただくようになると、おかげ様で動悸や息苦しさがなくなり、浄霊の素晴らしさを確信して入会しました。入会後も、ギックリ腰には何度かなりましたが、その都度浄霊で楽になり、現在まで約三十年、殆ど病院や薬に頼ることなく、元気に過ごせています。

#### 目のかゆみ・充血 浄霊で楽になり感謝

三年前には、急に顔面麻痺のような状態になりましたが、支部で浄霊をいただき、二カ月程で良くなりました。昨年の春頃のことですが、腰が痛くなり始めました。最初はギックリ腰かなと思いましたが、そういう痛みではなく、特に左側の腰から坐骨、左足にかけて痛みが強く、長く立っていることや歩くことが出来ませんでした。夜も足腰が痛んで、何度も目が覚めるような状態で、いつまでこの痛みが続くのかと思つたこともありましたが、私達はどんな病気も悪化作用ではなく、体内の毒素を排泄して、より健康になるための浄化作用であることを教えていただいております。今までの体験からも浄霊への迷いはありませんでした。

明主様にじっくりお願いして、支部でも自宅でも浄霊をいただきました。おかげ様で、激しい痛みは二週間程で落ち着き、夜に痛みで目が覚めることはなくなり、その後、薄紙を剥ぐように少しずつ痛みは和らぎ、約二カ月で完全に痛みはなくなり、明主様に感謝申し上げます。現在はコロナ禍で、多くの人が不安の中で生活しておられると思いますが、健康の真理を教えてください、どんな時も浄霊をいただけることは、本当に安心立命と思っております。一人でも多くの方が明主様に御縁をいただかれ、安心して幸福な毎日を過ごされますようお願いいたします。明主様、誠に有難うございました。(熊本県葦北郡)

私は昨年の二月頃、突然右目の視界の中にいくつかの黒い波線状が見えるようになり、首を振ると蚊が飛んでいるように見え、これが飛蚊症かなと思つておりました。支部の先生に伺うと「体の中の毒素が、目を出口として排泄される時にそういうことがありますが、よく浄霊をいただきますしよ」と言われましたので、支部と自宅をよく浄霊をいただきました。すると、だんだんと黒い線状のものが徐々に薄くなって消えていき、現在はほとんどその状態もなくなり、気にならなくなりました。とても嬉しく有難く思いました。

田川支部 梅津紀美代 (62)

私は浄霊に御縁をいただく前、約二十年前はいつも目がかゆく涙目になったり、結膜炎のような症状に悩んだりすることが多く、常に目薬を使用していました。しかし、一向に症状が良くなることはありませんでした。それが、協会に御縁をいただいていたから、自分で思い立って目薬をやめ、浄霊だけをいただきました。すると、現在は以前のような涙目や結膜炎などのような症状がなくなっていました。これも浄霊のおかげで体内の毒素が減り、つらかった症状が楽になったからだと感謝しております。会員になって八年が経ち、これまでも心身共に色々なおかげをいただけてきましたが、目に関する事で悩んでいる方も多いため、この体験記を書かせていただきました。明主様、誠に有難うございました。(福岡県田川郡)

# 浄霊入門 ⑨

(浄霊を体験したフランス人のつぶやき)

浄霊は比較できないものである。  
 浄霊は自然治癒をするエネルギーであり、霊的に目覚めるためのモノでもある。つまり、幸福に達するための方法であるが、まだまだ知られていない方法である。  
 新健康協会の会員になるための条件は、とても簡単である。  
 何度か浄霊を体験して、良いことだと感じたら入会のお願いをするだけである。

しかし、霊的には「誠」というものが必要になってくる。  
 つまり、人を助けることや、善い行いをするを好むことが重要になる。  
 新しく入会をした者は、みんな平等に、直ちに全エネルギーをいただく。  
 もちろん、あなた次第でそのエネルギーは変わってしまうから、定期的に「光」の取次をしていくことも大事。

「もしや自分は、すごい力の持ち主なのでは？」と錯覚してしまうと、逆に「光」は弱くなったり、または完全に消えてしまったりすることもあり得る。  
 だから傲慢にならないよう注意する必要がある。  
 明主様の御教えにある「誠」とは簡単に言えば「神の愛」なのだ。

「誠」を単純に「愛」に置き換えるのはあまりにも簡単すぎるから、もう少し言わせてもらおうと、「誠」とは、「神の愛」を人間が行動や言葉、そして考えて現わすことをいうのだ。

「誠」をもつという事は、自分のことを後回しにし、他人を第一に考えることであるため、お金や個人主義に基づく現代社会が説くところの思想とは反対の思想である。

他人を愛すること、助けることを愛すること、社会と全世界の幸福のために行動すること。「誠」とはそんな思想である。  
 神様の愛を語るのには明主様が初めてではない。

「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」と二〇〇〇年前にイエスキリストが語った。この「自分自身のように」が重要なポイントで、神様の愛をさしている。  
 神様の愛で自分自身を鼓舞し、人に尽くす。  
 まさに「誠」のことである。



明主様は、「美」による「心の浄化」を説かれました。世界の人が美を愛しむ時、それは文化の進歩にも貢献する事となり人間性の向上にもつながり、天国世界が出現することにもなると教示されました。

## 奇蹟の壺



唐津支部  
 中里忠寛(64)

この度、新健康協会にお届けしました「叩き唐津太郎右衛門青掻落し魚文壺」につきまして、お話しさせていただきます。

この壺は初めから新健康協会にお届けしたいと思って作り出しました。

まず粘土の底板を作り、そこに粘土を積み重ねて、それから水をつけ、ロク口で伸ばしていくのですが、三分の二程作ったところで壺の内側に粘土が落ち込んでしまいました。通常ですと二人程、人に手伝ってもらいヘアードライヤーで乾かしながら粘土を元の状態に立ち上げて何とか復帰させるのですが、その日は仕事場が休日でもありません。仕方がないので一人で片手で粘土を持ち上げながら、もう片手でヘアードライヤーで乾かして、やっとの思いで何とか元の形になり、それから壺の口の部分まで作ることができました。

う全部壊してしまい最初から作りなおしたと思っていました。するとどうでしょうか、お昼から帰ってきたら壺が壊れていません。「あ、これは助かるかもしれない」と思いました。すぐに割れている部分に粘土を入れて叩き板で叩き出しました。それでも通常ですと叩いた部分だけが膨らんでいき、うまくいかず、結局壊れていくものなのですが、今回は壺の形がスッキリした形になって驚きました。今迄に縦割れで助かった経験は三十年前に一回だけあって、これで二回目です。

次の行程は白化粧土の上から鉄絵具を塗るのですが、これは難なくいつものようにできました。

次の日にまた驚くことがありました。鉄絵具を塗った口の部分が何と剥がれているのではないですか。こんなことは滅多にないのです。それでも何とかしなさいといけないと思い、一旦、口の鉄絵具を塗った部分を少し剥ぎ取り、新たに鉄絵具を塗りました。この時、鉄絵具を厚く塗ると水気で口が割れてしまうと思いましたが、七〇〇度位で素焼きをし、そしてさらに鉄絵具を厚く塗りました。それから一二六〇度位で焼くのですが、窯から出すと、それでも口の部分に塗った鉄絵具が少し剥がれました。鉄絵具の剥がれは表面にかける釉薬でくっつけるしかないと思えました。

次の行程は壺の表面に鯉を掻き落していくのですが、大きな水槽に鯉を二匹入れます。動くので瞬間瞬間を目で捉えて描いていきます。鯉を生きているように表現するのが難しかったです。

そして最後の行程として壺の全面に青く発色する炭酸銅を含んだ釉薬をかけまして、再度、八五〇度位で焼きました。

窯から出しますと青の色がとても綺麗な壺に仕上が



っており、いつも失敗が多いので綺麗な色は久しぶりだと思いました。

このように色々な奇蹟をいただき、おかげ様で新健康協会にお届けさせていただきました。これからは後から聞いた話ですが、「この壺は普通の光で見ると分らないのですが、強いライトをあけると黒い絵の部分に金粉をまき散らしたかのようになり光ります」と言われて、どのようにされたのですかとのことでしたので「私はそれは知りませんでした」と驚きまして、重ね重ね御守護いただきまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

明主様、誠に有難うございました。

## 清明会館

「生を写し、真に迫る」後期展

期間：1月7日(木)～5月16日(日)

※清明会館お問い合わせ ☎(092) 661-1535